

令和 2 年度

# 授 業 計 画

北海道医療大学  
心理学部

## 北海道医療大学

教育	理念	<p>本学の建学の理念「知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成」に基づき、教育理念を以下のように定める。</p> <p>生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。</p>
	目的	<p>北海道医療大学の教育理念に沿って、幅広く深い教養に基づく豊かな人間性と高度で正確な専門知識・技術を有し、保健・医療・福祉を中心とする多様な分野と連携・協調して行動し、地域社会や国際社会で活躍できる専門職業人の養成を本学の教育目的とする。</p>
	目標	<p>北海道医療大学の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。</p> <p>1. 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養    3. 自主性・創造性および協調性の確立 2. 確かな専門の知識および技術の修得    4. 地域社会ならびに国際社会への貢献</p>
本学の行動指針	<p>ー 21世紀の新しい健康科学の構築 ー</p> <p>本学に対する社会の要請と期待に応えるため、社会と共生・協働する自由で開かれた大学を志向し、常に組織としての自律性・透明性を高めながら、構成員一人ひとりが自主性・創造性を発揮することにより「学生中心の教育」並びに「患者中心の医療」を推進しつつ、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究することを、本学の行動指針とする。</p> <p>なお、北海道医療大学の教育理念・教育目的・教育目標に沿って、各学部学科の教育理念・教育目的・教育目標が定められています。</p>	

## 北海道医療大学心理科学部臨床心理学科

教育	理念	<p>本学の教育理念を基本として、現代科学技術の成果を認識し、心にかかわる自然科学と人文社会科学の連携による健康科学教育を推進する。生命の価値に対する倫理観を涵養し、心の障害、コミュニケーション障害を真摯に受け止めることが出来る知性と感性を備えた人材を養成することにより、人類の幸福に貢献することを心理科学部臨床心理学科の教育理念とする。</p>
	目的	<p>心理科学部臨床心理学科の教育理念に沿って、心にかかわる自然科学と人文社会科学が連携した教育を通して、生命の価値に対する真摯な倫理観を涵養し、心の障害、コミュニケーション障害を一生の出来事として受け止めることが出来る知性と感性を備えた公認心理師や産業カウンセラー、スクールカウンセラー等の心理学に関する専門的知識を修得した人材の養成を本学科の教育目的とする。</p>
	目標	<p>心理科学部臨床心理学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。</p> <p>1. 心の障害、コミュニケーション障害に対処する心理専門職としての知識・技術の修得 2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて専門性を検証し、自己研鑽できる能力の育成 3. 予防的、治療的、予後的次元から様々な障害を見通せる能力の涵養 4. 生命の尊厳に対する専門性のかかわりを常に意識できる感性の育成 5. 地域的・国際的に貢献しうる学識と行動力の涵養</p>



# 心理科学部（臨床心理学科）

## 令和2年度授業計画

### 目次

<b>臨床心理学科</b>	
クラス担任、オフィス・アワー	16-17
臨床心理学科 第1学年（2020年度入学生）	18-20
・カリキュラム系統表	18
・卒業要件	19
・全学教育科目	20
臨床心理学科 第2学年（2019年度入学生）	21-23
・カリキュラム系統表	21
・卒業要件	22
・全学教育科目	23
臨床心理学科 第3学年（2018年度入学生）	24-26
・カリキュラム系統表	24
・卒業要件	25
・全学教育科目	26
臨床心理学科 第4学年（2017年度入学生）	27-33
・カリキュラム系統表	27
・卒業要件	30
・全学教育科目	32
教務日程	34
授業時間割（前期・後期）	35-36
講義日程	37
履修者数について	38
授業計画索引（カリキュラム順）	39-40
・臨床心理学科 第1学年	39
・臨床心理学科 第2学年	39
・臨床心理学科 第3学年	40
・臨床心理学科 第4学年	40
<b>授業計画索引（五十音順）</b>	
臨床心理学科	255-256
カリキュラムマップ・カリキュラムツリー	257-259

# 北海道医療大学三方針

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

### 【大学】

北海道医療大学は、大学および各学部学科の教育理念・教育目的に基づいた教育目標の達成に向けて、全学教育および専門教育科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、各学部学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

### 【心理科学部】

心理科学部臨床心理学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
2. 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的スキルを修得している。

## 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

### 【大学】

北海道医療大学は、教育理念にある「保健と医療と福祉の連携・統合」を基本として、確かな知識と技術、深い教養と豊かな人間性を持ち、広く社会に貢献できる専門職業人の養成に向けた教育課程を編成します。すなわち、幅広く深い教養と豊かな人間性・自立性・創造性・協調性の修得をめざす「全学教育科目」、および確かな専門知識と技術の修得をめざす各学部・学科の「専門教育科目」を適切に組合せた学士課程教育を提供します。

### 【心理科学部】

心理科学部臨床心理学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 1年次には、大学教育へのスムーズな移行を図るために、導入科目を配当する。また、健康・運動科学および情報化社会への対応科目も1年次に配当する。
2. 豊かな人間性・自立性・創造性・協調性等を身につけるために、教養科目を1年次から2年次に配当する。また、社会のグローバル化・多文化化に対応する外国語科目を1年次から2年次に配当する。
3. 1年次から3年次にかけては、身体科学と対応した心の基礎的な知識を身につけるために関連する医療基盤科目、医療系科目を配当する。
4. 1年次より、専門教育科目の体系化・構造化を図り、臨床心理専門領域の理解・深化を目的とした科目を配当する。また、1年次から4年次にわたって、公認心理師受験資格取得科目を配当し、国家資格に必要な知識・技能の修得を図る。
5. 2年次より、多様な職業分野へのキャリア形成を図るため、進路支援科目・産業心理科目を配当する。また、心理臨床の基礎的スキルを修得するために、1年次から4年次にわたって、コミュニケーション科目・心理療科科目を配当する。
6. 3年次以降は、専門演習、心理文献講読等の科目履修を通して、自らのテーマによって教養と専門性を維持向上させる研究を実践する。
7. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、ルーブリックを用いたレポート、実技試験などを実施する。

## 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

### 【大学】

北海道医療大学は、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究し、社会の要請と期待に応えるため、豊かな人間性や協調性・創造性等に加えて、保健と医療と福祉に関して各学部学科の高度な研究に裏打ちされた専門性の高い教育を行います。本学卒業には各学部学科の「学位授与の方針」の要件を満たすこと、すなわち、全学共通基盤の知識・技術・態度が必要となるばかりではなく高度な専門性の修得が要求されます。そのため、各学部学科では学位授与の方針の要件をより効果的に達成しうる資質を持った人材の受入れについて「入学者受入れの方針」として定めています。

### 【心理科学部】

心理科学部臨床心理学科では、学位授与の方針の要件を修得し、社会の要請と期待に応じて地域や人々の健康の向上に貢献できる心理専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 生命を尊重し、他者を理解し、大切に思う心がある人
2. 心の問題に関心を持ち、他者を援助することに意欲を持っている人
3. 入学後の修学に必要な基礎学力\*を有している人
4. 生涯にわたって学び、それを継続する意思を有している人
5. 心理学の専門家として地域社会ならびに人類の幸福に貢献するという強い目的意識を持っている人

\*基礎学力について

高等学校等で英語、国語等の履修により修得した基礎的知識に加えて、それらを活用し、自ら発展させていく意欲等を含むものをさします。

# 全学教育

## ●本学の教育プログラム

本学の各学部・学科のカリキュラムは、全学教育プログラムと専門教育プログラムから成り立っており、両者は有機的に連携しながら、学生中心の教育を展開しています。



## ●全学教育推進センター

全学教育プログラムの開発と実施、改善を担当するのが全学教育推進センターです。

学部と全学教育推進センターの双方に所属する教員が、専門教育との連携のもとに全学教育を中心に担っています。

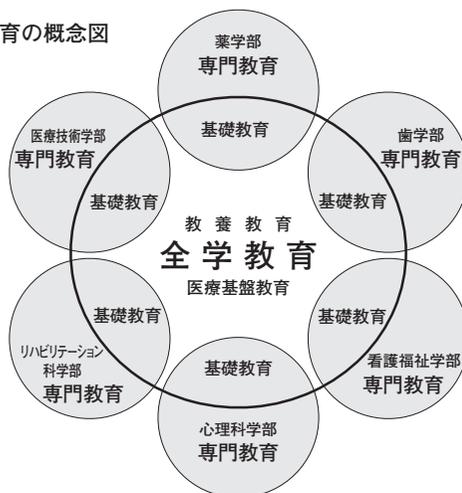
## ●全学教育とは

本学の各学部・学科は、医療系総合大学の特長を生かし、本学の教育理念と教育目標に基づいた様々な授業科目を設けています。

全学教育プログラムは、そのうち全学的に共通して必要とされる教育という視点から提供される授業科目群を指します。

幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養を担い、大学で学ぶ力、専門性を支え、卒業後も地域・国際社会で活躍するための総合的人間力の基盤を築くものです。

全学教育の概念図



## ●全学教育科目の構成と内容

全学教育科目は<教養教育>・<基礎教育>・<医療基盤教育>の3つのカテゴリーに分類され、それぞれのカテゴリーには、科目の区分ごとに様々な授業が配置されています。

なお、「授業科目」には、授業内容を具体的に表す「授業題目」が複数用意されているものがあります。この場合、履修規程にしたがってどの授業でも選択し、履修することができます。それは、教養の多様性を重視する本学の教育において、各学生が様々な授業を選択できるように配慮しているからです。

特に教養科目では、内容を具体的に示す題目ごとに様々な授業が実施されており、履修した授業の単位は、その「授業題目」が置かれている「授業科目」の単位となります。

### <教養教育>

人間性豊かな学識ある市民、そして専門職業人となるために、人間理解の技法や幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間力を形成するための科目群です。

<p><b>導入科目</b>…高校から大学への円滑な移行を図り、大学で主体的に学ぶ方法を身につけるための科目で、新入生向けに開講されます。 基礎ゼミナールは学生が主体的、行動的、体験的に学ぶ機会を提供します。少人数グループ学習により多様な授業題目を設けています。 文章指導では、論理的、科学的文章の書き方を体系的に学ぶことができます。</p>	
<b>基礎ゼミナール</b>	特定のテーマを題材に、少人数クラス（グループ）による学習が展開されます。読み書き能力、数的処理能力、IT利用能力、情報収集能力、批判的思考力、論理的思考力、コミュニケーション能力、チームワーク能力、責任感など、大学で学ぶための基本能力を身につけます。
<b>文章指導</b>	論理的文章の作成能力を身につけるために、文章の構造や構成、トピックとパラグラフ、論理の展開、論理的記述や表現、事実と意見の記述、文献引用の方法、著作権への留意など、体系的に学びます。
<p><b>教養科目</b>…教養教育の中心におかれる科目群です。人間理解の技法や幅広く深い教養、豊かな人間力を身につけるため、人間、世界、地球、宇宙を時間的、空間的にとらえる多様な視点と知的技法を修得します。自分、あるいは自分をとりまく多様な事象を多面的に解析、対応できる能力を養い、豊かな学識、科学的考え方、知の連携、人類の知的遺産への敬意と継承、知の活用などを習得するための基盤を形成します。</p>	
<b>人間と思想</b>	考える存在である人間が築き上げてきた知の営み、人間の存在や世界の認識についての根源的な問いを探求する哲学的思索や、人が社会の中でどのように生きるべきかを問うける倫理や宗教思想について学びます。諸科学の基盤となる論理的思考の方法と現代世界において生きるための倫理観を身につけます。
<b>人間と文化</b>	人間が作り上げてきた豊かな文化の多様性と普遍性について学ぶことを通し、人間の生のあり方を深く理解します。また、異なる文化における生活様式や価値観について理解するための視点と方法を学ぶことで、グローバル化が加速する現代世界における他者との共生の道を探ります。
<b>人間と社会</b>	社会とは、人と人が関係を持ちながら生活を営む基盤です。社会の仕組みを理解するために、国家や経済の制度的成り立ち、人々の利害を調整し秩序づける法的システム、個人間の社会関係などについて解明する社会科学の視点を身につけ、現代社会におけるさまざまな課題について学び、考察します。
<b>自然と科学</b>	万物を形成する自然の原理と法則を探求する方法や、人間の行動による科学の視点を身につけます。さらに、現代社会において、自然と科学を複合的、総合的な視点から正しく認識し、理解できる能力を身につけます。多様な視点から提供される情報に見えてくるさまざまな課題を探究していく実証的能力や特定の事実から物事を推論する能力を養います。

## <基礎教育>

専門教育を受けるために必要な基礎的能力を身につける科目群です。  
専門の学問を体系的に認識し、専門の学術を学ぶための基盤を形成します。

<b>外国語科目</b> …外国語によるコミュニケーション能力を高め、異文化交流や異文化理解のために必要な教養を身につけます。英語科目では、高校までに学習した内容をさらに伸長させます。また、国際社会における教養として、英語以外の言語を学ぶことも可能です。	
英 語 I	英語によるコミュニケーションや異文化交流のために、リスニング、スピーキングの学習を中心に、英語能力の基礎と国際社会で必要とされる教養を身につけます。
英 語 II	英語によるコミュニケーションや異文化交流のために、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能の基礎をバランスよく身につけ、国際社会で必要とされる教養もあわせて学びます。
英 語 III	英語I、IIで学習した基礎をもとに、英語の運用能力を高め、国際社会で必要とされる教養も学ぶために、発展的内容や特定のテーマによる演習を行います。
初 修 外 国 語	国際社会における教養として、フランス語、ドイツ語、韓国語、中国語、ロシア語の基礎を学びます。英語以外の外国語を学ぶことで異文化・国際社会を理解するための視点を身につけます。
<b>健康・運動科学科目</b> …健康に生活するために重要な運動、栄養、休養を考慮した生活習慣や、適切な健康・体力・心の健康の維持と形成の理論と方法を学び、健康の基盤を形成します。	
運 動 科 学	健康や運動に関する諸問題や基礎的知識について学習し、健康の維持・増進を図るための基礎的な能力を養います。生活習慣と健康、運動不足の問題、運動が身体に及ぼす影響、運動トレーニングの原理・原則、運動の過剰や怪我、スポーツ障害の問題などについて学びます。
運 動 科 学 演 習	各個人の形態的特性、体力特性を測定・評価し、運動処方考え方を実践的に学習します。また、スポーツ活動を通して、生涯にわたって適切な健康・体力づくりが実践できる基礎的な能力を養います。具体的には形態測定、体力測定、ストレッチング、ランニング、筋力トレーニング、スポーツ活動に関して実技および演習形式で授業が展開されます。
<b>情報科学科目</b> …情報社会でポジティブに活動するため、また、専門分野での学習を円滑に進められるため、必要な情報処理の理論と基本技法を学び、情報活用能力を身につけます。	
情 報 科 学	コンピュータに関するハードウェアとソフトウェア、情報処理に関わる数学的基礎を学び、コンピュータの使用法の原理、特性や仕組みを理解します。
情 報 処 理 演 習	コンピュータと情報ネットワークを活用して学習や社会活動を円滑に行うためのスキルを習得します。具体的には文書作成、データ処理、プレゼンテーション技法、および情報の検索と収集方法などの授業が実践的に展開されます。
統 計 学	多量で複雑なデータから有用な情報を引き出す数学的手法をツールとして活用する能力を養うために、数値データや文字データを集計する手法を学び、適切な統計学的分析に必要な数学的考え方や計算方法、および分析結果を正確に伝達・発表する方法を習得します。

## <医療基盤教育>

医療系総合大学として、複数の専門分野に共通する医療・福祉の基盤教育を複数の専門分野が協力して提供する。

**医療基盤科目**…各学部の教育に共通な基盤を形成するため、医療と福祉を総合的に学びます。

<b>多職種連携</b>	チーム医療の実践に欠かせない専門職種間の有機的な連携と協業について、基礎知識や理論、連携のためのマネジメントの実際などを、それぞれの専門的な立場から考察し、多職種連携が果たす役割や機能について学びます。
<b>地域連携</b>	大学を取りまく地域の学習資源である社会や人物を活用して展開する科目です。地域で社会や自然と関わる体制、社会の仕組みと大学とが連携する教育を展開し、地域医療、地域環境の理解から地球上で人と共生する基本を学びます。
<b>医療倫理</b>	医療哲学、医療倫理、医療福祉、医療コミュニケーション、福祉と看護、患者・弱者理解、医療連携、チーム医療、医療危機・感染対策など、医療を実践するにあたって医療人に共通な人間基盤、連携で対応すべき課題の具体を学び、医療人としての人間力を具体化します。

## ●授業科目と(授業題目)

「授業科目」には、授業内容を具体的に表す(授業題目)が複数用意されているものがあります。この場合、履修規程にしたがってどの授業でも選択し、履修することができます。教養の多様性を重視する本学の教育において、各学生が様々な授業を選択できるように配慮しているためです。

特に教養科目では、内容を具体的に示す題目ごとに様々な授業を実施しており、履修した授業の単位は、その(授業題目)が置かれている「授業科目」の単位となります。

## ●単位

その授業の学習目標を達成した証拠となるものです。

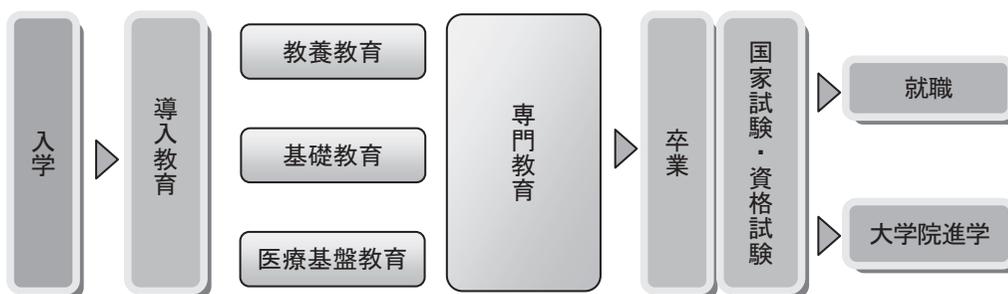
授業に出席するだけでなく、予習と復習を行い、定期試験やレポートなどで所定の成果が得られて初めて単位を得た(修得した)こととなります。なお、予習と復習の学習内容については、授業計画(シラバス)の【学習の準備】欄に具体的な記載があり、担当教員から別途指示があります。

卒業のために必要な単位数は学部・学科ごとに定められています。自分がこれまで何単位を修得しているか、卒業するためにはどの分野の科目を何単位修得すればよいかなどを把握しておくことが重要です。

本学の1授業時間は80分です。15回の授業に予習と復習を合わせて2単位となることが基本ですが、1.5単位であったり、外国語・演習・実験科目などは1単位となる場合があります。

## ●科目履修の概念図

入学してから卒業までの学習の過程、全学教育と専門教育との関係は下図のとおりです。



# 教育内容

## 臨床心理学科の特色

いじめ、不登校、自傷・他害、他殺・自殺、また親子間の問題やストレス、中高年の適応障害、性格上の問題、更には災害・緊急事態などにおける外傷後ストレス障害などに対する心理支援は、年齢、性別、地域に限定されず幅広く求められている。これら援助の要請に真摯に応えるため、新しい援助理論・技術・組織の開発・研究を実践する。

一方で、国家資格である公認心理師資格の設立および臨床心理学領域の各学会における認定資格の増加（例：日本心理学会の認定心理士、日本行動療法学会の認定行動療法士、日本バイオフィードバック学会の認定バイオフィードバック技能士、日本健康心理学会の健康心理士、日本応用心理学会の応用心理士など）を踏まえ、卒業後、これら各認定資格を取得しうる基礎学力の修得を図る。

### (1) 臨床心理学科の教育目標

心理学部臨床心理学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

- ① 心の障害、コミュニケーション障害に対処する心理専門職としての知識・技術の修得
- ② 社会の変化、科学技術の進展に合わせて専門性を検証し、自己研鑽できる能力の育成
- ③ 予防的、治療的、予後的次元から様々な障害を見通せる能力の涵養
- ④ 生命の尊厳に対する専門性のかかわりを常に意識できる感性の育成
- ⑤ 地域的・国際的に貢献しうる学識と行動力の涵養

### (2) 臨床心理学科の教育内容

- ① 1年次は、他者とのかかわりにおける専門性の理解のため、自己認識、他者・組織・社会的ルール等にかかわる科目を配当する。更に多文化・情報化の時代への対応を可能とする科目を配当する。
- ② 1年次から2年次にかけては、医科学、認知科学の履修を通し、心の基本的な知識を学び、特に身体科学と対応することにより、心の機能・構造を理解する。
- ③ 2年次以降は専門教育科目の体系化・構造化を図り、科目の履修目的が明確となる臨床心理専門領域の理解・深化を目的とした科目を配当する。
- ④ 3年次は、心理臨床の基本的技術を学び、自立した研究の初歩を習得することで、心理臨床の専門職能人としての自覚を促す。
- ⑤ 4年次は、専門演習、卒業研究等を通して自らテーマを決めて研究を行う。
- ⑥ 近年の生物科学、情報科学の動向を理解し、技術の習得が可能な関連科目を配当する。
- ⑦ 心の問題にかかわる教育関連、医療関連の科目を配当する。

### (3) 研究協力者プール・クレジットシステム

学生の研究参加へのモチベーションと、学生が研究に参加することで得られる教育効果を高めるため、臨床心理学科の学生の研究協力を評価するシステムを導入している。

# 授業科目の履修

## 履修原則

1. 学生は学則に定める教育課程及び履修方法等、授業科目の別表の規定のほか、その他の規定、その他の諸規程・内規及び心理科学課の指導に従い、慎重な履修計画を立案する。
2. 入学年度により卒業要件が異なるので、「カリキュラム系統表」に従い、計画的に履修する。
3. 学年制を加味した単位制（1年間に修得した単位数が一定の基準に達しない場合は、留年又は仮進級）を採用しているため、1年次から全学教育科目はもとより、専門教育科目の履修についても十分理解する。

## 履修登録

1. 各年次の学期はじめに、当該学期に履修しようとする授業科目について、指定期間内に所定の手続きにより履修登録をしなければならない。
2. 履修登録をしていない科目の履修は認めない。
3. 履修登録することができる単位数の上限は48単位である。
4. 所定の期日までに変更、追加、取り消しを願い出た者に限り、変更が認められる。

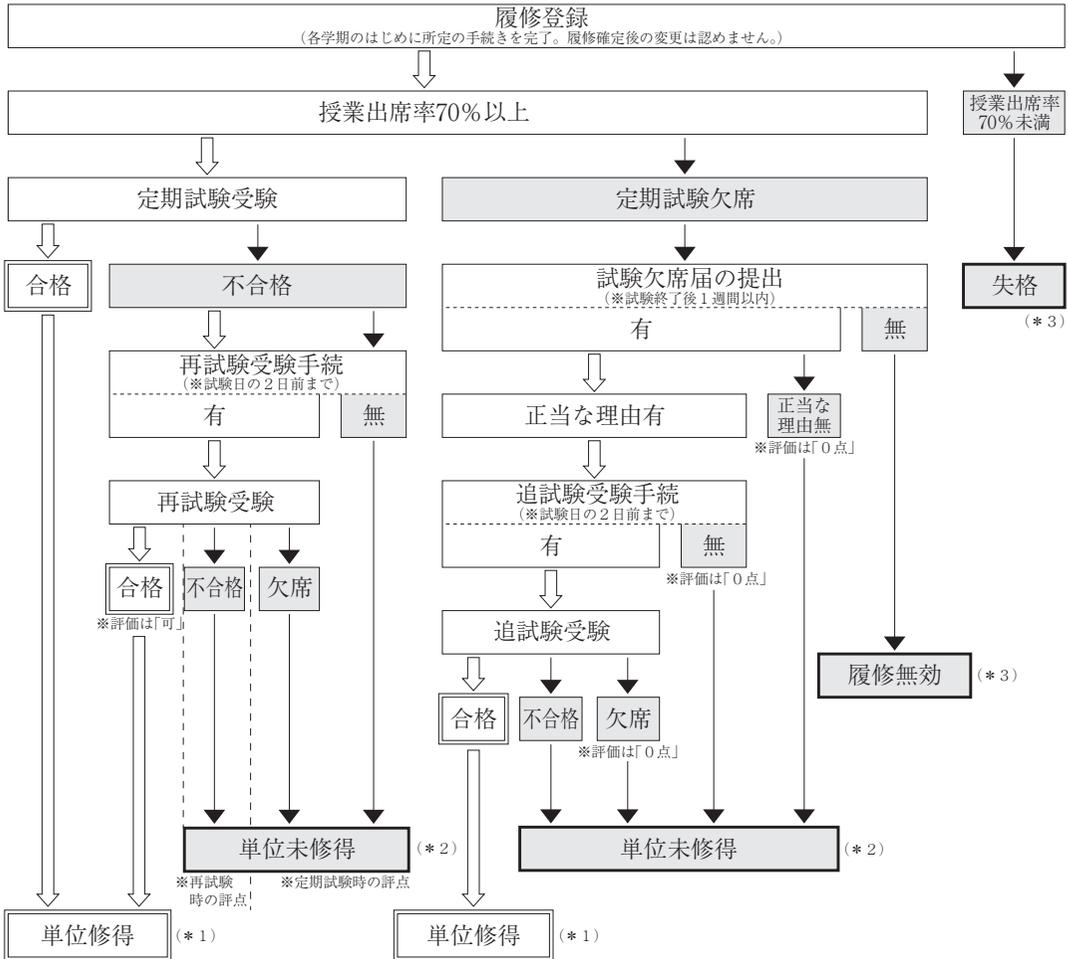
## 履修上の注意

1. 本学部では公認心理師等の資格取得に必須の科目を配置している。履修科目により、社会福祉主事任用資格、児童指導員任用資格の取得が可能。詳細は⑥⑦を参照。
2. 履修に際し、各自の将来に向けて重視される選択科目を履修するように心がけること。  
なお、科目を選択する場合、必ず卒業要件に係る単位数の確認を怠らないこと。
3. 実験・実習は臨床心理専門職としての実体験を学ぶ学習であることからレポート等の提出物は、定められた期日を厳守すること。
4. 提出物によっては、再提出、再実験、再実習を課する場合がある。
5. 4年次に学外における臨床（臨地）実習について、各実習先の都合等で日程等を各自調整・変更する場合がある。
6. 社会福祉主事任用資格の取得  
この資格の取得条件のひとつは、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する34科目のうち、いずれか3科目以上を履修して卒業することである。心理科学部では、社会福祉に関する科目として以下の科目を開講している。

学科	区分	科目（題目）			
臨床心理	必修	心理学概論	精神医学		
	選択	(社会学入門)	(法学概論)	公衆衛生学	ソーシャルワーク概論
		人体の構造と機能及び疾病Ⅰ・Ⅱ			

7. 児童指導員任用資格の取得  
卒業をもって児童指導員任用資格の有資格者となる。  
(条件：大学で心理学・教育学・社会学のいずれかを専修する学科を卒業したもの)

# 履修登録から単位修得まで



単位修得

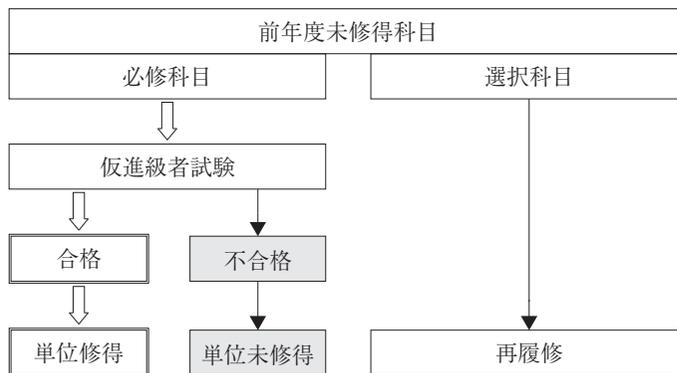
※詳細は、「心理科学部履修規程」第9条、第10条、第11条を参照すること。

## 進級の基準

- (\* 1) 当該学年に配当されている必修科目を全て修得した場合…………… **進級**
- (\* 2) 必修科目に単位未修得がある場合でも、当該学年に配当されている必修科目数（実習科目を除く）の合計のうち20%を超えない不合格科目数の場合は仮進級を認めることがある。  
 仮進級が適当と判断された場合…………… **仮進級**  
 仮進級が不適当と判断された場合…………… **留年**
- (\* 3) 必修科目が「失格」・「履修無効」又は実習科目（\*旧カリキュラム）が「不合格」の場合…………… **留年**

### 仮進級の場合の単位修得

- ① 仮進級者に対して仮進級者試験を行う。
- ② 受験手続は試験実施の2日前までとする。(再試験と同様の手続きである。)
- ③ 合格者の評価は「可」とする。
- ④ 選択科目は仮進級者試験を行わない。単位修得を希望する場合は再履修となる。
- ⑤ 不合格の場合は、次年度の仮進級者試験を受験する。  
ただし、当該年度の単位修得状況により留年となることもある。



### 受験心得

試験にあたっては、試験場において下記事項に十分留意のうえ、受験しなければならない。

1. 受験者は、必ず学生証を携帯し、試験に臨むこと。
2. 試験場においては、必ず座席表に指定された座席に着席し、学生証を机上に提示すること。
3. 解答用紙には「学科、学年、学籍番号、氏名」を楷書で明瞭に記入すること。マークシートを使用して実施する試験においては、HBの黒鉛筆で明瞭に記入すること。
4. 試験開始後20分以上の遅刻者は、受験を認めない。
5. 試験開始後30分までは、退場を認めない。
6. 試験場における物品の貸借及び私語を禁ずる。
7. 試験場において参照を許可されたもの以外はまとめて指示された場所に置くこと。
8. 答案を提出する場合は、試験監督の指示する場所に提出すること。提出した者は私語をつつしみ、すみやかに退場すること。
9. その他、試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。

不正行為をした者、試験監督者の指示に従わなかった者には、即時試験場から退場を命じ、以後の受験を停止し、学則の規定に基づき懲戒する。  
また、当該授業科目、当該試験期間中の受験該授業科目の全科目の評点を0点とみなす。

# 心理学部履修規程（一部抜粋）

（目的）

第1条 この規程は、北海道医療大学学則（以下「学則」という。）第34条に定める心理学部の授業科目の履修及び修得について、必要事項を定める。

（履修）

第2条 授業科目の所定授業時間数の70%以上に出席し、試験等を受験した者を当該授業科目を履修したものとする。

（修得）

第3条 前条に定める履修の要件を満たし、試験等の結果、当該授業科目の評価が可以上の成績に認定された者を当該授業科目を修得したものとする。

（失格）

第4条 この規程において失格とは、第2条に定める当該授業科目への出席が70%未満で、試験を受験する資格がないことをいう。

（授業科目）

第5条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に修得することを原則とする。

- 2 在籍する学年により下級学年に配当されている授業科目を履修することは、支障のない限り許可されるが、上級学年に配当されている授業科目を履修することはできない。

（履修登録）

第6条 授業科目を履修するには、学期のはじめに、当該学期に履修しようとする授業科目について、指定された期間内に所定の手続きを行い、履修登録しなければならない。

- 2 前項に定める手続きを行わない者は、当該学期に当該授業科目を履修することができない。
- 3 履修登録した授業科目の変更、追加、取り消しは認めない。
- 4 卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間に履修登録することができる単位数の上限は、原則として48単位とする。
- 5 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は制限単位数を超えて履修登録を行うことができる。

（試験）

第7条 履修登録した授業科目の単位修得のために試験を行う。

- 2 試験には、定期試験、追試験、再試験及び仮進級者試験がある。ただし、授業科目により、その他随時諸種の試験等を行うことがある。
- 3 次の各号のいずれかに該当する者は試験を受験することができない。
  - (1) 履修登録をしていない者
  - (2) 失格となった者
  - (3) 試験開始時間に20分を越えて遅刻した者
  - (4) 学生証を所持しない者
  - (5) 授業料、その他納入金を所定の期日までに完納していない者

- 4 試験日及び時間割等は、別に定める。

(定期試験)

第8条 定期試験は各学期末に行う。

(試験欠席届)

第9条 前条に定める定期試験を欠席した者は、当該授業科目の試験終了後、1週間以内に試験欠席届を提出しなければならない。この場合、当該試験欠席届には、欠席の事由により、次の各号に定める書類を添付しなければならない。

(1) 疾病による場合

医師の診断書（受験できなかった事由、期間が記載されているもの）

(2) 交通事故の場合

警察署の事故証明書または交通機関の管理者の事故・遅延等の証明書

（ただし、証明書が発行されない交通機関等の場合は、速やかに申し出ること）

(3) 忌引の場合

父母または保証人の証明書

(4) その他緊急やむを得ない場合

理由書

2 前項に定める届け出のない者は、受験放棄と見なし、当該授業科目を履修無効とする。

3 第1項の届け出における欠席の事由が正当と認められない者は、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(追試験)

第10条 追試験とは、前条の届け出における欠席の事由が正当と認められた者に対して行う試験をいう。

2 追試験を受験する者は「追試験申込書」を指定の期限までに心理学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 前項に定める受験手続きを完了していない者及び追試験を欠席した者は原則として、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(再試験)

第11条 再試験とは、定期試験の結果が60点未満の者に対して行う試験をいう。

2 再試験を受験する者は「再試験申込書」に受験料を添えて、指定の期限までに心理学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 再試験における成績の評価は、可（60点）以下とする。

4 第2項に定める受験手続きを完了していない者及び再試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の成績は定期試験時の評点とし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(試験中の不正行為)

第12条 試験中に不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わなかった者には、即時試験場から退場を命じ、以後の受験を停止し、学則第45条に基づき懲戒する。

2 前項の不正行為をした者は当該授業科目並びに当該試験期間中の受験該当授業科目全科目の評点を0点とみなす。

(受験心得)

第13条 受験心得については、別に定める。

(進級判定)

第14条 進級の判定は、学年末に教授会において行う。

(進級・仮進級)

第15条 当該学年に配当されている必修科目を全て修得した者は、進級とする。

2 前項の規定にかかわらず、当該学年に配当されている必修科目数(実習科目を除く)の合計のうち20%を超えない不合格科目数の場合は、仮進級とすることができる。ただし、必修科目が失格又は履修無効となった者、及び実習科目が不合格となった者は原則として仮進級できない。

3 言語聴覚療法学科については、第4学年への仮進級は認めない。

4 前項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は仮進級とする場合がある。

(仮進級者試験)

第16条 仮進級者試験とは仮進級者に対して当該不合格必修科目について行う試験をいう。

2 仮進級者試験での不合格単位数は、その年度の不合格単位に加算する。

3 仮進級者試験については、第11条の「再試験」を「仮進級者試験」と読み替えて準用する。

(留年)

第17条 第15条に定める条件を満たさない者は留年とする。

2 留年した者は、当該学年の不合格科目及び失格・履修無効となった科目を再履修しなければならない。

(自由選択科目)

第18条 各学科に自由選択科目をおくことができる。自由選択科目の単位は、卒業必要単位に含まない。

(補則)

第19条 この規程に定めなき事項は、教授会で決定する。

(改廃)

第20条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が決定する。

# 心理学部編入学に関する規程（一部抜粋）

（出願資格）

第3条 編入学を志願する者は、次に掲げる出願資格のいずれかを満たしていなければならない。

（1）臨床心理学科

ア 大学を卒業または卒業見込みの者

イ 短期大学を卒業または卒業見込みの者

ウ 専修学校（修業年限2年以上の専門課程、修了必要総授業時間数1,700時間以上）を卒業または卒業見込みの者

（既修得単位の認定）

第9条 編入学を許可された者の出身学校における既修得科目・単位認定の上限は、別表1のとおりとする。

2 編入生に対して、出身学校における履修・修得状況を確認のうえ個別に単位認定を行うことがある。

3 心理学部における専門教育科目については、出身学校と本学とにおいて同一科目名、同一単位数あるいは異なる科目名、異なる単位数であっても教育内容が同等であると認められる場合には、教授会の議を経て、当該科目を既修得単位として認定することがある。

（編入学後の履修・修得）

第10条 編入生に対して、認定された既修得単位に基づいた卒業に向けての履修指導を行う。

2 編入生は学則第29条第4項に定められた卒業に必要な単位のうち、前条に基づいて認定された単位数を除いた単位数以上を修得しなければならない。

3 履修に関する事項は、別に定める。

（在学年限）

第11条 編入生は、4年を超えて在学することはできない。

（編入学運営委員会）

第12条 編入学の適正運営を図るため、学部内に編入学運営委員会を置く。

2 編入学運営委員会に関する事項については、別に定める。

（補則）

第13条 この規程に定めるもののほか、編入学に関する必要事項は、心理学部教授会及び評議会の議を経て、学長が定める。

（改廃）

第14条 この規程の改廃は、心理学部教授会及び評議会の議を経て、学長が定める。

別表1 (第9条関係)

**臨床心理学科**

(単位：単位数)

入学資格	全学教育科目		臨床心理専門科目		小計		合計
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	
大学卒	12	20	6	18	18	38	56
上記以外	10	20	6	12	16	32	48

## クラス担任

臨床心理学科	
第1学年	本谷 亮 准教授 齊藤 恵一 講師 真島 理恵 講師 関口 真有 助教 西牧 可織 助教 福田 実奈 助教 クラス分けは、後日掲示する。
第2学年	Aクラス：金澤潤一郎 准教授 Bクラス：今井 常晶 准教授 Cクラス：西郷 達雄 講師 Dクラス：河村 麻果 助教 Eクラス：松本由紀子 講師 Fクラス：百々 尚美 教授 クラス分けは、後日掲示する。
第3学年	【一般学生】 Aクラス：西牧 可織 助教 Bクラス：森 伸幸 教授 Cクラス：本谷 亮 准教授 Dクラス：真島 理恵 講師 Eクラス：西牧 可織 助教 Fクラス：関口 真有 助教 ※ゼミ配属以降「専門演習Ⅰ」担当教員が担任となる。
第4学年	「専門演習Ⅱ」担当教員

\*第3学年前期まで原則担任を変更しない。

\*第3学年でのゼミ配属以降、「専門演習」担当教員が担任となる。(引き続き第4学年「専門演習Ⅱ」を担当する。)

## オフィス・アワー

「オフィス・アワー」とは、学生の皆さんが、教員の授業に関する質問や学生生活にかかわる相談をするために、教員室を訪問することができる時間のことです。教員は、予め学生の皆さんの訪問に対応する時間を設定してお知らせしますので、活用してください。

心理科学部 令和2年度 オフィス・アワー対応可能日時

教員名	月	火	水	木	金	備考
中野 倫仁		15:40~17:00			15:40~17:00	・会議等で不在の時があるため要連絡
富家 直明	昼休み			昼休み		
野田 昌道	9:30~11:30		9:30~11:30	9:30~11:30		
安部 博史	9:30~11:00		9:30~11:00		11:00~15:00	・左記時間の他にも対応可能な場合があります。 ・メールで問い合わせください。
森 伸幸		10:30~12:00		15:30~17:00		
百々 尚美	13:00~14:00	12:00~13:00				・設定した時間帯以外でも来室可、可能な限り対応する。 ・メールにて事前連絡 ndodo@hoku-iryo-u.ac.jp
河合 祐子			9:00~10:00		12:00~13:00	※あいの里キャンパスにて対応
金澤潤一郎		10:00~14:00				設定した日時も不在の可能性が あります。 メール予約可 j16-kana@hoku-iryo-u.ac.jp

	教員名	月	火	水	木	金	備考
臨床心理学科	本谷 亮			12:00～13:00			・設定した時間帯以外でも来室可、可能な限り対応する。 ・メール予約可 motoyan@hoku-iryō-u.ac.jp
	今井 常晶	15:00～16:00	16:00～16:30			15:00～16:00	・事前にメール連絡をいれること。
	齊藤 恵一	13:00～17:00			13:00～17:00	13:00～17:00	・事前にメール連絡をいれること。
	真島 理恵	17:00～18:00				17:00～18:00	・設定した時間帯以外でも来室可、可能な限り対応する。 ・メールにて要事前連絡 (rmashima@hoku-iryō-u.ac.jp)
	松本由起子		12:00～13:00	12:00～13:00			・事前にメール連絡をいれること。
	西郷 達雄	9:00～12:00		13:00～17:00			・設定した時間以外にも来室可、可能な限り対応する。 ・教育支援室に在室する機会が多い。 ・メール予約可 t-saigo@hoku-iryō-u.ac.jp
	関口 真有			12:00～13:00			・設定した時間以外にも来室可、可能な限り対応する。 ・メール予約可 sekiguchi@hoku-iryō-u.ac.jp
	河村 麻果		13:30～16:30	13:30～16:30	15:00～17:00		・設定した時間帯以外でも来室可、可能な限り対応する。 ・メール予約可 kasaka@hoku-iryō-u.ac.jp ・設定した日時も不在の可能性があるので要予約。
	福田 実奈						・いつ来室しても構わない ・メール予約可 mfukuda@hoku-iryō-u.ac.jp
	西牧 可織		13:30～14:30				13:00～15:00
言語聴覚療法学科	教員名	月	火	水	木	金	備考
	下村 敦司			13:00～15:00		17:00～18:00	・設定日時に不在の可能性あり。また設定日時以外でも対応可。メールでの予約をお願いします。 shimo@hoku-iryō-u.ac.jp
	太田 亨			17:00～18:00	17:00～18:00		
	橋本 竜作		16:00～17:00		16:00～17:00		
	森元 良太		10:30～11:30			14:10～15:30	

\*上記、心理科学部以外の教員のオフィスアワーについては、本学ホームページ「在学生の方へ」の「教務情報」に一覧として掲載されていますので、各自確認をしてください。  
また、非常勤講師については、講義時間にのみ対応可となりますので、質問等は出来る限り講義時間内に確認をしてください。

# カリキュラム系統表 (臨床心理学科)

令和2年度(2020年度)一般入学生に適用

分野	種類	科目区分	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				備考		
			科目名		時間数		科目名		時間数		科目名		時間数		科目名		時間数				
			必修	選択	前期	後期	必修	選択	前期	後期	必修	選択	前期	後期	必修	選択	前期	後期			
全学教育科目	教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	2		30															
		教養科目	文章指導		2		30														
			人間と思想		2	(30)	(30)	人間と思想		2	(30)	(30)									
			人間と文化		2	(30)	(30)	人間と文化		2	(30)	(30)									
	人間と社会			2	(30)	(30)	人間と社会		2	(30)	(30)										
	基礎教育	外国語科目	英語Ⅰ	1		(30)	(30)	英語Ⅱ	1		(30)	(30)									
		健康・運動科学科目	初修外国語		1	(30)	(30)														
			健康・運動科学		2		30														
		情報科学科目	情報科学		2		30														
	情報処理演習		情報処理演習	1		(30)															
医療教育基盤		多職種連携	統計学		2		30														
	多職種連携		2		(30)																
	医療基盤科目	地域連携		2	(30)	(30)	地域連携		2	(30)	(30)										
		医療倫理		2	(30)	(30)	医療倫理		2	(30)	(30)										
臨床心理学科 専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	公認心理師の職責	2		30															
			心理学概論	4		60															
			臨床心理学概論	2			30														
			心理学研究法	2			30														
		心理学発展科目	心理学統計法Ⅰ	2			30														
			心理学統計法Ⅱ					2		30											*
			心理学実験					2		90											*
			学習・言語心理学Ⅰ	2			30														
			社会・集団・家族心理学	2			30														
			知覚・認知心理学			2		30													*
実践心理学	学習・言語心理学Ⅱ			2		30													*		
	感情・人格心理学Ⅰ	2			30														*		
	神経・生理心理学Ⅰ			2		30													*		
	神経・生理心理学Ⅱ			2		30													*		
実用演習科目	発達心理学Ⅰ	2			30														*		
	発達心理学Ⅱ	2			30														*		
	心理的アセスメント			4		60													*		
	感情・人格心理学Ⅱ			2		30													*		
実用演習科目	障害者・障害児心理学	2			30														*		
	心理学的支援法Ⅰ	2			30														*		
	心理学的支援法Ⅱ			2		30													*		
	教育・学校心理学Ⅰ	2			30														*		
実用演習科目	健康・医療心理学Ⅰ	2			30														*		
	産業・組織心理学			2		30													*		
	教育・学校心理学Ⅱ			2		30													*		
	健康・医療心理学Ⅱ			2		30													*		
実用演習科目	福祉心理学	2			30														*		
	司法・犯罪心理学	2			30														*		
	関係行政論			2		30													*		
	人間の発達と機能及び疾病Ⅰ		2		30														*		
実用演習科目	人間の発達と機能及び疾病Ⅱ		2		30														*		
	精神疾患とその治療			2		30													*		
	心理演習			4		120	心理実習		2		60	心理実習Ⅱ	2		60						
	専門演習Ⅰ	2			60	心理情報処理		2		30	専門演習Ⅲ	2		60							
研究	臨床心理学特別講義Ⅰ			2		30	臨床心理学特別講義Ⅱ			2		30									
	心理文献講読Ⅰ			2		30	心理文献講読Ⅱ			2		30									
	心理科学基礎Ⅰ		1		15	心理科学基礎Ⅱ		1		15	心理科学基礎Ⅲ		1		15	心理科学基礎Ⅳ		1		15	
	心理科学基礎Ⅱ		1		15	心理科学基礎Ⅲ		1		15	心理学の歴史		2		30	ソーシャルワーク概論		2		30	
専門基礎科目	ジェンダー論		2		30	環境心理学		2		30	キャリア・プランニングⅠ		2		30	キャリア・プランニングⅡ		2		30	
	環境心理学		2		30	キャリア・プランニングⅠ		2		30	キャリア・プランニングⅡ		2		30	キャリア・プランニングⅢ		2		30	
	キャリア・プランニングⅠ		2		30	キャリア・プランニングⅡ		2		30	キャリア・プランニングⅢ		2		30	内科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅡ		2		30	キャリア・プランニングⅢ		2		30	内科学		2		30	脳科学		2		30	
コミュニケーション科目	コミュニケーション実践Ⅰ		2		30	コミュニケーション実践Ⅱ		2		30	内科学		2		30	脳科学		2		30	
	コミュニケーション実践Ⅱ		2		30	キャリア・プランニングⅣ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅣ		2		30	キャリア・プランニングⅤ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅤ		2		30	キャリア・プランニングⅥ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
心理療科目	キャリア・プランニングⅥ		2		30	キャリア・プランニングⅦ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅦ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
進路支援科目	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
医療系科目	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
産業心理科目	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
産業心理科目	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	
	キャリア・プランニングⅧ		2		30	キャリア・プランニングⅧ		2		30	脳科学		2		30	脳科学		2		30	

・時間数を( )で表示している科目は、複数の授業題目により開講される場合を示す。

【卒業要件】:【全学教育科目】より27単位以上修得(うち必修12単位)  
 【卒業要件】:【専門教育科目】より101単位以上修得(うち必修41単位)  
 以上合計128単位以上修得(必修53単位、選択75単位以上)すること。

※専門教育科目における選択科目中、「\*」の科目より16単位以上修得。

カリキュラム  
臨床心理1年

《心理科学部 臨床心理学科 第1学年（令和2年度（2020年度）一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】

領域	配当学年	必修 (単位)				選択必修 (単位)				選択			
		1	2	3	4	計	1	2	3		4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	15単位以上 (*)	
		教養科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-		
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-		
医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-			
必要単位数(計)		10	2	-	-	12	-	-	-	-			
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	12	-	-	-	12	-	4	-	4	60単位以上	
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-		16
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	4	-	4		
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	2	-	2		
		実習演習科目	-	-	-	-	0	-	-	-	-		
	臨床心理専門科目	研究	-	-	2	4	6	-	-	-	-		
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		進路支援科目	-	2	-	-	2	-	-	-	-		
	医療系科目	1	-	-	-	1	-	-	-	-			
	産業心理科目	-	-	-	-	-	-	2	-	2			
	必要単位数(計)		17	10	10	4	41	-	18	10	-		28
卒業に必要な単位数(合計)		27	12	10	4	53	-	-	-	-	16	75以上	
						128以上							

(\*) 「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から4授業科目8単位以上修得。  
専門教育科目における選択科目中、選択必修科目より16単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】

領域	配当学年	必修 (科目)					
		1	2	3	4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
配当題目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	-	-	-	5
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
		実習演習科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	研究	-	-	1	2	3
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	1	-	-	1
	医療系科目	1	-	-	-	1	
	産業心理科目	-	-	-	-	-	
	配当題目数(計)		8	5	5	2	20
配当科目・題目数(合計)		15	7	5	2	29	
仮進級に係る基準科目数(*)		3	1	1	-	-	

(\*) 当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。(配当科目一題目数×20%)  
\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不都合科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

# 全学教育科目(令和2年度:第1学年)

令和2年度(2020年度)一般入学生に適用

種類	科目区分	授業科目	(授業題目)	担当教員	単位数		時間数 1年		時間数 2年		時間数 4年		卒業要件 (選択科目)	掲載 ページ		
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	Freshers' 講座	西郷ほか	2		30							44		
		文章指導	日本語表現	井上貴、山田		2		30						46		
	教養科目	人間と思想	哲学入門		森元		2	30						48		
			科学技術社会と倫理		磯部		2	30				*		50		
			心の哲学 (2年で開講)		森元		2				30			120		
		人間と文化	ヨーロッパの歴史と文化		佐藤		2	30					*	52		
			フランス美術と歴史のダイナミズム (2年で開講)		柴		2				30			122		
		人間と社会	社会学入門		薄井		2	30					*	55		
	経済学入門			金盛		2	30					*	57			
	自然と科学	法学概論		姫嶋		2	30							59		
		技術と人間		原		2	30					*	61			
			物質の科学		鈴木一		2	30				*	63			
基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	Cain, Lee	1		30						65			
			英語コミュニケーションB	Cain, Lee	1		30						67			
		英語 II	英語A (2年で開講)	松本、中島	1					30				124		
			英語B (2年で開講)	松本、中島	1					30				126		
		初修外国語	初級中国語	呉		1	30							69		
			フランス語	永井		1	30							70		
	健康・運動科学科目 情報科学科目	健康・運動科学	運動科学	山口、井上領、福家		2	30							74		
			情報科学	情報科学	西牧		2	30							76	
		情報科学科目	情報処理演習	情報処理演習 I	西牧、二瓶	1		30							78	
				情報処理演習 II	西牧、二瓶	1		30							81	
			統計学	基礎統計学	西牧		2	30								84
				多職種連携	多職種連携入門	真島ほか		2	30							87
医療基礎教育	地域連携	全学連携地域包括ケア実践演習(4年で開講)	安部ほか		2					30			226			
		地域ボランティア論	西郷		2	30								90		
	医療倫理	医療倫理	磯部		2	30								92		
全学教育科目 合計27単位以上修得 (うち必修12単位)																

\*それぞれ2単位以上修得



《心理科学部 臨床心理学科 第2学年（令和元年度（2019年度）一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】

領域	配当学年	必修				選択必修				選択				
		1	2	3	4	計	1	2	3		4	計		
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	15単位以上 (*)		
		教養科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-			
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-			
医療基礎教育	医療基礎科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-				
必要単位数(計)		10	2	-	-	12	-	-	-	-				
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	12	-	-	-	12	-	-	-	-	60単位以上		
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-		16	
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-		4	
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-		2	
	臨床心理専門科目	実習演習科目	-	-	-	-	0	-	-	-	-		-	
		研究	-	-	2	4	6	-	-	-	-		-	
		専門基礎科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	必要単位数(計)		17	10	10	4	41	-	18	10	-		28	
	卒業に必要な単位数(合計)		27	12	10	4	53	-	-	-	-		16	75以上
											128以上			

(\*) 「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から4授業科目8単位以上修得。  
専門教育科目における選択科目中、選択必修科目より16単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】

領域	配当学年	必修					
		1	2	3	4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基礎教育	医療基礎科目	1	-	-	-	1	
配当科目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	-	-	-	5
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	実習演習科目	-	-	-	-	-
		研究	-	-	1	2	3
		専門基礎科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
	配当科目数(計)		8	5	5	2	20
	配当科目・題目数(合計)		15	7	5	2	29
	仮進級に係る基準科目数(*)		3	1	1	-	-

(\*) 当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。(配当科目一題目数×20%)  
\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

卒業要件2年

# 全学教育科目(令和2年度:第2学年)

令和元年度(2019年度)一般入学生に適用

種類	科目区分	授業科目	(授業題目)	担当教員	単位数		時間数 1年		時間数 2年		時間数 4年		卒業要件 (選択科目)	掲載 ページ		
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	Freshers' 講座	西郷ほか	2		30							44		
		文章指導	日本語表現	井上貴	2		30							46		
	教養科目	人間と思想	哲学入門		森元	2	30								48	
			科学技術社会と倫理		碓部	2	30					*	8 単 位 授 業 科 目 得	50		
			心の哲学		森元	2			30						120	
		人間と文化	ヨーロッパの歴史と文化		佐藤	2	30					*		52		
			フランス美術と歴史のダイナミズム		柴	2		30						122		
		人間と社会	社会学入門		薄井	2	30									55
			地域医療政策論		櫻井	2	30					*		-		
			法学概論		姫嶋	2	30								59	
			国際福祉経済論		千葉	2	30								-	
		自然と科学	技術と人間		原	2	30							*	61	
	物質の科学			鈴木一	2	30								63		
	基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	Cain, Lee	1		30						選択科目 15単位 以上修得	65	
			英語コミュニケーションB	Cain, Lee	1		30						67			
英語 II			英語A		松本、中島	1			30						124	
			英語B		松本、中島	1				30					126	
初修外国語			初級中国語		呉	1	1	30							69	
		フランス語		永井	1	1	30						70			
健康・運動科学科目		健康・運動科学	運動科学		森田、山口、井上恒	2	30								72	
			健康・運動科学		森田、山口、井上恒	2	30								74	
		情報科学科目	情報科学	情報科学		西牧	2	30								76
			情報処理演習	情報処理演習 I		西牧、二瓶	1	30								78
				情報処理演習 II		西牧、二瓶	1	30								81
	統計学		基礎統計学		西牧	2	30							84		
医療基礎教育	医療基礎科目	多職種連携	多職種連携入門	中野ほか	2	30							87			
			全学連携地域包括ケア実践演習(4年で開講)	安部ほか	2				30				226			
		地域連携	地域ボランティア論	西郷	2	30							90			
		医療倫理	医療倫理	碓部	2	30							92			
全学教育科目					合計27単位以上修得(うち必修12単位)											

\*それぞれ2単位以上修得

全学教育科目2年

# カリキュラム系統表 (臨床心理学科)

平成30年度 (2018年度) 一般入学生に適用

分野	種類	科目区分	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				備考								
			科目名	単位数		時間数		科目名	単位数		時間数		科目名	単位数		時間数		科目名		単位数		時間数					
				必修	選択	前期	後期		必修	選択	前期	後期		必修	選択	前期	後期			必修	選択	前期	後期				
全学教育科目	教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	2		30																					
		教養科目	人間と思想	2		(30)	(30)	人間と思想	2		(30)	(30)															
			人間と文化	2		(30)	(30)	人間と文化	2		(30)	(30)															
			人間と社会	2		(30)	(30)	人間と社会	2		(30)	(30)															
	自然と科学		2		(30)	(30)	自然と科学	2		(30)	(30)																
	基礎教育	外国語科目	英語 I	1		(30)	(30)	英語 II	1		(30)	(30)	英語 III	1		(30)	(30)									閉講	
			英語 III	1		(30)	(30)	英語 III	1		(30)	(30)	英語 III	1		(30)	(30)										
		健康・運動科学科目	健康・運動科学	2		30																					
		情報科学科目	情報科学	2		30																					
	医療教育基	医療基礎科目	健康・運動科学	2		30																					
地域連携			2		(30)	(30)	地域連携	2		(30)	(30)	地域連携	2		(30)	(30)											
臨床心理学科 専門教育科目	心理学基礎科目	公認心理師の職責	2		30																						
		心理学概論	4		60																						
		臨床心理学概論	2		30																						
		心理学研究法	2		30																						
	心理学発展科目	心理学統計法 I	2		30		心理学統計法 II	2		30		心理学実験	2		90											*	
		学習・言語心理学 I	2		30		知覚・認知心理学	2		30		学習・言語心理学 II	2		30											*	
		社会・集団・家族心理学	2		30		感情・人格心理学 I	2		30		神経・生理心理学 I	2		30											*	
							神経・生理心理学 II	2		30		発達心理学 I	2		30											*	
							発達心理学 II	2		30		心理的アセスメント	4		60												*
							教育・学校心理学 I	2		30		感情・人格心理学 II	2		30												*
						健康・医療心理学 I	2		30		障害者・障害児心理学	2		30												*	
						産業・組織心理学	2		30		心理学的支援法 I	2		30												*	
実践心理学						教育・学校心理学 II	2		30		心理学的支援法 II	2		30												*	
						健康・医療心理学 II	2		30		関係行政論	2		30												*	
心理学関連科目	人間の発達と機能が疾病 I	2		30		精神疾患とその治療	2		30																	*	
	人間の発達と機能が疾病 II	2		30																							
臨床心理学科 専門教育科目	実習演習科目										心理演習	4		120	心理実習	2		90									
											専門演習 I	2		60	専門演習 II	2		60									
	研究										心理情報処理	2		30	専門演習 III	2		60									
															心理文献講読 I	2		30									
	専門基礎科目	心理学基礎 I	1		15	心理学基礎 II	1		15	心理学基礎 IV	1		15	臨床心理学特別講義 I	2		30										
		心理学基礎 III	1		15	心理学の歴史	2		30	臨床心理学特別講義 II	2		30														
	コミュニケーション科目	コミュニケーション実践 I	2		30	ジェンダー論	2		30	ソーシャルワーク概論	2		30														
		コミュニケーション実践 II	2		30	環境心理学	2		30																		
	心理療法														心理療法の実際 I	2		30	心理療法の実際 III	2		30					
															心理療法の実際 II	2		30	心理療法の実際 IV	2		30					
進路支援科目														キャリアプランニング I	2		30										
														キャリアプランニング II	2		30										
医療系科目	医学総論	1		15	内科学	2		30	遺伝学	2		30															
														脳科学	2		30										
産業心理科目														公衆衛生学	2		30										
														労働安全衛生学	2		30										
														行動経済学	2		30										

・時間数を ( ) で表示している科目は、複数の授業題目により開講される場合を示す。

【卒業要件】：【全学教育科目】より27単位以上修得 (うち必修12単位)  
 【卒業要件】：【専門教育科目】より101単位以上修得 (うち必修41単位)  
 以上合計128単位以上修得 (必修53単位、選択75単位以上) すること。

※専門教育科目における選択科目中、「\*」の科目より16単位以上修得。

カリキュラム  
臨床心理3年

《心理科学部 臨床心理学科 第3学年（平成30年度（2018年度）一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】		(単位)				(単位)				選択		
領域		必修				選択必修						
配当学年		1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	
全学 教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
		教養科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-	-
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療基盤教育	情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	必要単位数(計)	10	2	-	-	12	-	-	-	-	-	
専門 教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	12	-	-	-	12	-	4	-	-	4
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-	16
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	臨床心理専門科目	実音演習科目	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-
		研究	-	-	2	4	6	-	-	-	-	-
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-
		医療系科目	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		産業心理科目	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	必要単位数(計)	17	10	10	4	41	-	18	10	-	28	
卒業に必要な単位数(合計)		27	12	10	4	53	-	-	-	-	16	
						128以上				75以上		

(\*) 「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から  
4授業科目8単位以上修得。  
専門教育科目における選択科目中、選択必修科目より16単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】		(科目)					
領域		必修					
配当学年		1	2	3	4	計	
全学 教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
	医療基盤教育	情報科学科目	3	-	-	-	3
	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
	配当科目数(計)	7	2	-	-	9	
専門 教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	-	-	-	5
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	実音演習科目	-	-	-	-	-
		研究	-	-	1	2	3
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	1	-	-	1
		医療系科目	1	-	-	-	1
		産業心理科目	-	-	-	-	-
	配当科目数(計)	8	5	5	2	20	
配当科目・題目数(合計)		15	7	5	2	29	
仮進級に係る基準科目数(*)		3	1	1	-	-	

(\*) 当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。(配当科目・題目数×20%)  
\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

# 全学教育科目(令和2年度:第3学年)

平成30年度(2018年度)一般入学生に適用

種類	科目区分	授業科目	(授業題目)	担当教員	単位数		時間数		時間数		時間数		時間数		卒業要件 (選択科目)	掲載 ページ		
					必修	選択	1年		2年		3年		4年					
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	Freshers' 講座	富家ほか	2	30										44		
		文章指導	日本語表現	井上貴	2	30											46	
	教養科目	人間と思想	哲学入門		森元	2	30									*	48	
			科学技術社会と倫理		磯部	2	30										*	50
			心の哲学		森元	2					30							120
			人間と文化	ヨーロッパの歴史と文化	佐藤	2	30										*	52
		人間と社会	フランス美術と歴史のダイナミズム		柴	2				30							*	122
			社会学入門		薄井	2	30										*	55
			地域医療政策論		櫻井	2	30										*	-
			法学概論		姫嶋	2	30										*	59
		自然と科学	国際福祉経済論		千葉	2	30										*	-
			技術と人間		原	2	30										*	61
			物質の科学		鈴木一	2	30									*	63	
			映像と音楽の科学技術		小西											閉講	-	
基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	Cain, Lee	1	30											65	
			英語コミュニケーションB	Cain, Lee	1	30												67
		英語 II	英語A	塚越、松本、中島	1			30										124
			英語B	松本、中島	1			30										126
		英語 III	初級英語 I	松本													閉講	-
			初級英語 II	足利														
			中級英語 I	松本														
			中級英語 II	松本														
				上級英語 I	松本													
				上級英語 II	鎌田													
		フランス語	フランス語	三浦	1	30											70	
		ドイツ語	ドイツ語	阿部	1	30											72	
	健康・運動科学科目	健康・運動科学	運動科学	森田、山口、井上恒	2	30											74	
	情報科学科目	情報科学	情報科学	西牧	2	30											76	
情報処理演習		情報処理演習 I	西牧、二瓶	1	30												78	
		情報処理演習 II	西牧、二瓶	1	30												81	
統計学		基礎統計学	西牧	2	30												84	
医療基礎教育	医療基礎科目	個体差健康科学	個体差健康科学・多職種連携入門	中野倫ほか	2	30											87	
		地域連携	全学連携地域包括ケア実践演習(4年で閉講)	安部ほか	2						30						226	
		医療倫理	地域ボランティア論	富家、白石	2	30											90	
		医療倫理	医療倫理	磯部	2	30											92	

全学教育科目 合計27単位以上修得 (うち必修12単位)

\*それぞれ2単位以上修得

全学教育科目3年



<心理学部 臨床心理学科 専門教育科目>

平成28年度（2016年度）一般入学生に適用

分野	種類	科目区分	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				備考						
			科目名	単位数		時間数		科目名	単位数		時間数		科目名	単位数		時間数		科目名		単位数		時間数			
				必修	選択	前期	後期		必修	選択	前期	後期		必修	選択	前期	後期			必修	選択	前期	後期		
全学教育科目	教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	2		30																			
		教養科目	文章指導		2		30																		
			人間と思想		2	(30)	(30)	人間と思想		2	(30)	(30)													
			人間と文化		2	(30)	(30)	人間と文化		2	(30)	(30)													
	人間と社会			2	(30)	(30)	人間と社会		2	(30)	(30)														
	基礎教育	外国語科目	自然と科学		2	(30)	(30)	自然と科学		2	(30)	(30)											6単位以上修得		
			英語Ⅰ		1		(30)	(30)	英語Ⅱ		1		(30)	(30)	英語Ⅲ		1	(30)	(30)					2単位以上修得	
			英語Ⅲ		1	(30)	(30)	英語Ⅲ		1	(30)	(30)	英語Ⅲ		1	(30)	(30)							2単位修得	
		健康・運動科目	フランス語		1	(30)	(30)	ドイツ語		1	(30)	(30)													
			健康・運動科学		2		30																		
			情報科学		2		30																		
	情報科学科目	情報処理演習		1		(30)																		2単位修得	
統計学			2		30																				
医療基	医療基盤科目	個性差健康科学		2		(30)																			
		地域連携		2	(30)	(30)	医療倫理		2	(30)	(30)														
専門教育科目	心理学基礎	心理学Ⅰ		2		30	心理学基礎実験		2		90	心理学の歴史		2		30	臨床心理学特別講義		2		30				
		心理学Ⅱ		2		30	言語心理学		2		30	心理情報処理		2		30									
		臨床心理学		2		30	生理心理学		2		30														
		心理科学基礎Ⅰ		1	15		神経心理学		2		30														
		心理科学基礎Ⅱ		1		15	思考心理学		2		30														
							心理科学基礎Ⅲ		1	15															
	医科学	解剖学		2		30	遺伝学		2		30	臨床薬理学		1	15										
		生理学		2		30	小児科学		2	30	行動神経科学		1	15											
		医学総論		1		15	内科学		2	30															
							脳科学		2		30														
	経験と成長	学習心理学		2		30	発達心理学Ⅰ		2		30	老年心理学		2		30									
		行動学		2		30	発達心理学Ⅱ		2		30	教育心理学		2		30									
	個人と社会	社会心理学		2		30	人格心理学		2		30	自己心理学		2		30									
							ジェンダー論		2	30	公衆衛生学		2		30										
							環境心理学		2	30	リハビリテーション概論		2		30										
							キャリア・プランニングⅠ		2	30	社会福祉概論		2	30											
							キャリア・プランニングⅡ		2	30	キャリア・プランニングⅢ		2	30											
							行動経済学Ⅰ		2	30	キャリア・プランニングⅣ		2	30											
	臨床実践の基礎	コミュニケーション概論		2		30	精神医学		2		30	障害者心理学		2		30	学校臨床心理学		2		30				
		災害心理学		2		30	発達臨床心理学		2		30	異常心理学		2		30									
	査定と援助						臨床心理アセスメント理論		2		30	カウンセリング		2		30	心理療法の実際Ⅲ		2		30				
							臨床心理アセスメント演習		2		60	臨床心理学的援助演習Ⅰ		2		60	心理療法の実際Ⅳ		2		30				
											臨床心理学的援助演習Ⅱ		2		60										
											心理療法の実際Ⅰ		2	30											
実習										心理療法の実際Ⅱ		2	30												
										心理療法の実際Ⅲ		2	30												
研究	心理学研究法Ⅰ		2		30	心理学研究法Ⅲ		2		30	臨床心理臨床実習		4		180										
	心理学研究法Ⅱ		2		30					専門演習Ⅰ		2		60	臨床心理文献講義Ⅰ		2		30						
															臨床心理文献講義Ⅱ		2		30						
															専門演習Ⅱ		2		60						
															卒業研究		4		180						

カリキュラム  
臨床心理4年

・時間数を（ ）で表示している科目は、複数の授業題目により開講される場合を示す。

【卒業要件】：【全学教育科目】より27単位以上修得（うち必修12単位）  
 【卒業要件】：【専門教育科目】より103単位以上修得（うち必修77単位）  
 以上合計130単位以上修得（必修89単位、選択41単位以上）すること。

<心理学部 臨床心理学科 専門教育科目>

平成27年度（2015年度）一般入学生に適用

分野	種類	科目区分	第1学年				第2学年				第3学年				第4学年				備考			
			科目名		単位数	時間数	科目名		単位数	時間数	科目名		単位数	時間数	科目名		単位数	時間数				
			必修	選択	前期	後期	必修	選択	前期	後期	必修	選択	前期	後期	必修	選択	前期	後期				
全学教育科目	教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	2		30																
		教養科目	文章指導		2		30															
			人間と思想		2	(30)	(30)	人間と思想		2	(30)	(30)										
			人間と文化		2	(30)	(30)	人間と文化		2	(30)	(30)										
			人間と社会		2	(30)	(30)	人間と社会		2	(30)	(30)										
	基礎教育	外国語科目	自然と科学		2	(30)	(30)	自然と科学		2	(30)	(30)									6単位以上修得	
			英語Ⅰ		1		(30)	(30)	英語Ⅱ		1		(30)	(30)								2単位修得
			英語Ⅲ		1	(30)	(30)	英語Ⅲ		1	(30)	(30)	英語Ⅲ		1	(30)	(30)					2単位修得
		健康・運動科学科目	フランス語		1	(30)	(30)	ドイツ語		1	(30)	(30)										
			健康・運動科学		2		30															
			情報科学		2		30															
		情報科学科目	情報処理演習		1		(30)															2単位修得
			統計学		2		30															
		医療基	個性差健康科学		2		(30)															
			地域連携		2	(30)	(30)	医療倫理		2	(30)	(30)										
臨床心理専門科目	心理科学基礎	臨床心理英語Ⅰ		4	60	心理学基礎実験		2		90	心理学の歴史		2			30	臨床心理学特別講義		2		30	
		臨床心理英語Ⅱ		2		30	脳科学		2		30	心理情報処理		2		30						
		心理学Ⅰ		2		30	言語心理学		2		30											
		心理学Ⅱ		2		30	生理心理学		2		30											
		臨床心理学		2		30	神経心理学		2		30											
							思考心理学		2		30											
	医科学	解剖学		2		30	遺伝学		2		30	臨床薬理学		1		15						
		生理学		2		30	小児科学		2		30											
							脳神経外科学		1		15											
							内科学		2		30											
							医学総論		1		15											
							病理学		1		15											
							耳鼻咽喉科学		1		15											
							神経学		2		30											
							形成外科学		1		15											
							歯科学総論		1		15											
	経験と成長	学習心理学		2		30	発達心理学Ⅰ		2		30	老年心理学		2		30						
		行動学		2		30	発達心理学Ⅱ		2		30	発達環境創造論		2		30						
	個人と社会	社会心理学		2		30	人格心理学		2		30	自己心理学		2		30						
							ジェンダー論		2		30	グループダイナミクス		2		30						
							環境心理学		2		30	家族福祉論		2		30						
							キャリアプランニングⅠ		2	30	公衆衛生学		2		30							
							キャリアプランニングⅡ		2	30	精神保健福祉論		2		30							
												リハビリテーション概論		2		30						
												社会福祉概論		2		30						
心理的障害	コミュニケーション概論		2		30	精神医学		2		30	障害者心理学		2		30	学校臨床		2		30		
	災害心理学		2		30	発達臨床心理学		2		30	異常心理学		2		30							
査定と援助						臨床心理アセスメントⅠ		2		30	カウンセリング		2		30	臨床心理的援助演習Ⅰ		2		60		
						臨床心理アセスメントⅡ		2		60						臨床心理的援助演習Ⅱ		2		60		
実習											臨床心理臨地実習		4		180							
											専門演習Ⅰ		2		60	専門演習Ⅱ		2		60		
研究	心理学研究法Ⅰ		2		30	心理学研究法Ⅲ		2		30						卒業研究		4		180		
	心理学研究法Ⅱ		2		30																	

・時間数を（ ）で表示している授業科目は、複数の授業題目により行われる場合があることを示す。

【卒業要件】：【全学教育科目】より27単位以上修得（うち必修12単位）  
 【卒業要件】：【専門教育科目】より103単位以上修得（うち必修87単位）  
 以上合計130単位以上修得（必修99単位、選択31単位以上）すること。

《心理科学部 臨床心理学科 第4学年（平成29年度（2017年度）一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】		（単位）					選択	
領域	配当学年	必修				計		
		1	2	3	4			
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	15単位以上（*）
		教養科目	-	-	-	-	-	
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	
		情報科学科目	4	-	-	-	4	
医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2		
必要単位数（計）		10	2	-	-	12		
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	6	8	2	-	16	26単位以上
		医科学	1	2	-	-	3	
		経験と成長	4	4	4	-	12	
		個人と社会	2	4	2	-	8	
		臨床実践の基礎	2	4	4	-	10	
		査定と援助	-	4	6	-	10	
		実習	-	-	4	-	4	
		研究	4	2	2	6	14	
必要単位数（計）		19	28	24	6	77		
卒業に必要な単位数（合計）		29	30	24	6	89	41以上 130以上	

（\*）「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から4授業科目8単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】		（科目）					
領域	配当学年	必修				計	
		1	2	3	4		
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
配当題目数（計）		7	2	-	-	9	
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	3	4	1	-	8
		医科学	1	1	-	-	2
		経験と成長	2	2	2	-	6
		個人と社会	1	2	1	-	4
		臨床実践の基礎	1	2	2	-	5
		査定と援助	-	2	3	-	5
		実習	-	-	-	-	-
		研究	2	1	1	2	6
配当題目数（計）		10	14	10	2	36	
配当科目・題目数（合計）		17	16	10	2	45	
仮進級に係る基準科目数（*）		3	3	2	-	-	

（\*）当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。（配当科目一題目数×20%）

\*「臨床心理臨地実習」単位未修得の場合には仮進級は認められない。

\*仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

\*実習科目の「臨床心理臨地実習」を除いて算出（第3学年）。

《心理科学部 臨床心理学科 第4学年（平成28年度（2016年度）一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】		（単位）					選択	
領域	配当学年	必修				計		
		1	2	3	4			
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	15単位以上（*）
		教養科目	-	-	-	-	-	
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	
	医療基盤教育	情報科学科目	4	-	-	-	4	
医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2		
必要単位数(計)		10	2	-	-	12		
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	6	8	2	-	16	26単位以上
		医科学	1	2	-	-	3	
		経験と成長	4	4	4	-	12	
		個人と社会	2	4	2	-	8	
		臨床実践の基礎	2	4	4	-	10	
		査定と援助	-	4	6	-	10	
		実習	-	-	4	-	4	
		研究	4	2	2	6	14	
必要単位数(計)		19	28	24	6	77		
卒業に必要な単位数(合計)		29	30	24	6	89	41以上 130以上	

(\* ) 教養科目の「自然と科学」から3題目6単位以上修得。  
「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」から3題目6単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】		（科目）					
領域	配当学年	必修				計	
		1	2	3	4		
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
	医療基盤教育	情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
配当題目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	3	4	1	-	8
		医科学	1	1	-	-	2
		経験と成長	2	2	2	-	6
		個人と社会	1	2	1	-	4
		臨床実践の基礎	1	2	2	-	5
		査定と援助	-	2	3	-	5
		実習	-	-	-	-	-
		研究	2	1	1	2	6
配当題目数(計)		10	14	10	2	36	
配当科目・題目数(合計)		17	16	10	2	45	
仮進級に係る基準科目数(* )		3	3	2	-	-	

(\* ) 当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。(配当科目一題目数×20%)  
\* 「臨床心理臨床実習」単位未修得の場合には仮進級は認められない。  
\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。  
\* 実習科目の「臨床心理臨床実習」を除いて算出(第3学年)。

《心理科学部 臨床心理学科 第4学年（平成27年度（2015年度）一般入学生に適用）》

【卒業に必要な単位数】		（単位）					選択	
領域	配当学年	必修				計		
		1	2	3	4			
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	15単位以上（*）
		教養科目	-	-	-	-	-	
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	
	医療基盤教育	情報科学科目	4	-	-	-	4	
医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2		
必要単位数(計)		10	2	-	-	12		
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	6	10	2	-	18	16単位以上
		医科学	4	6	1	-	11	
		経験と成長	4	4	4	-	12	
		個人と社会	2	2	4	-	8	
		心理的障害	2	4	4	-	10	
		査定と援助	-	4	2	4	10	
		実習	-	-	4	-	4	
		研究	4	2	2	6	14	
必要単位数(計)		22	32	23	10	87		
卒業に必要な単位数(合計)		32	34	23	10	99	31以上 130以上	

(\* ) 教養科目の「自然と科学」から3題目6単位以上修得。  
「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」から3題目6単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】		（科目）					
領域	配当学年	必修				計	
		1	2	3	4		
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
	医療基盤教育	情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
配当題目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	3	5	1	-	9
		医科学	2	3	1	-	6
		経験と成長	2	2	2	-	6
		個人と社会	1	1	2	-	4
		心理的障害	1	2	2	-	5
		査定と援助	-	2	1	2	5
		実習	-	-	-	-	-
		研究	2	1	1	2	6
配当題目数(計)		11	16	10	4	41	
配当科目・題目数(合計)		18	18	10	4	50	
仮進級に係る基準科目数(* )		3	3	2	-	-	

(\* ) 当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。(配当科目一題目数×20%)  
\* 「臨床心理臨床実習」単位未修得の場合には仮進級は認められない。  
\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。  
\* 実習科目の「臨床心理臨床実習」を除いて算出(第3学年)。

卒業要件4年

# 全学教育科目(令和2年度:第4学年)

平成29年度(2017年度)一般入学生に適用

種類	科目区分	授業科目	(授業題目)	担当教員	単位数		時間数 1年		時間数 2年		時間数 3年		時間数 4年		卒業要件 (選択科目)	掲載 ページ	
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	Freshers' 講座	冨家ほか	2		30									44	
		文章指導	日本語表現	井上貴		2	30										46
	教養科目	人間と思想	哲学入門		森元		2	30								*	48
			科学技術社会と倫理		磯部		2	30								*	50
		心の哲学		森元		2				30						*	120
		人間と文化	ヨーロッパの歴史と文化		佐藤		2	30								*	52
			フランス美術と歴史のダイナミズム		柴		2			30						*	122
		人間と社会	社会学入門		薄井		2	30								*	55
			地域医療政策論		櫻井		2	30								*	-
			法学概論		姫嶋		2	30								*	59
			国際福祉経済論		千葉		2	30								*	-
		自然と科学	技術と人間		原		2	30								*	61
	物質の科学			鈴木一		2	30								*	63	
			映像と音楽の科学技術		小西											閉講	-
基礎教育	英語 I	オールラウンド・イングリッシュA		Cain, Lee	1		30									65	
		オールラウンド・イングリッシュB		Cain, Lee	1		30									67	
	英語 II	英語A		中島	1				30							124	
		英語B		中島	1					30						126	
	英語 III	初級英語 I		松本												閉講	-
		初級英語 II		足利													
		中級英語 I		松本													
		中級英語 II		松本													
		上級英語 I		松本													
	上級英語 II		鎌田														
	フランス語	フランス語		三浦		1	30									70	
	ドイツ語	ドイツ語		阿部和		1	30									72	
	健康・運動科学	運動科学		森田、山口、井上恒		2	30									74	
	情報科学科目	情報科学	情報科学		西牧		2	30									76
情報処理演習		情報処理演習 I		西牧、二瓶	1		30									78	
		情報処理演習 II		西牧、二瓶	1		30									81	
統計学		基礎統計学		西牧		2	30									84	
医療基盤教育	個体差健康科学	個体差健康科学・多職種連携入門		中野倫ほか	2		30									87	
		全学連携地域包括ケア実践演習		安部ほか		2						30				226	
	地域連携	地域ボランティア論		冨家、白石		2	30									90	
医療倫理	医療倫理		磯部		2	30									92		
全学教育科目 合計27単位以上修得 (うち必修12単位)																	

\*それぞれ2単位以上修得

# 全学教育科目 (令和2年度: 第4学年)

平成28年度/27年度(2016年度/2015年度)一般入学生に適用

種類	科目区分	授業科目	(授業題目)	担当教員	単位数		時間数 1年		時間数 2年		時間数 3年		時間数 4年		卒業要件 (選択科目)	掲載 ページ
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	Freshers' 講座	富家ほか	2		30									44
		文章指導	日本語表現	井上貴	2		30									46
	教養科目	人間と思想	哲学入門	森元	2		30									48
			科学技術社会と倫理	権部	2		30									50
			科学基礎論	森元	2			30								-
			心の哲学	森元	2				30							120
			心と哲学	森元	2					30						52
		人間と文化	ヨーロッパの歴史と文化	佐藤	2		30									122
			フランス美術と歴史のダイナミズム	柴	2			30								52
		人間と社会	社会学入門	薄井	2		30									-
			地域医療政策論	櫻井	2		30									-
			法学概論	姫嶋	2		30									59
			国際福祉経済論	千葉	2		30									-
		自然と科学	技術と人間	原	2		30									61
			物質の科学	鈴木一	2		30									63
映像と音楽の科学技術	小西		2											-		
心の哲学	森元		2											-		
基礎教育	外国語科目	英語 I	オール・イングリッシュA	Cain, Santos	1		30								65	
			オール・イングリッシュB	Cain, Santos	1		30								67	
		英語 II	英語A	中島	1			30							124	
			英語B	中島	1				30						126	
		英語 III	初級英語 I	松本	1											閉講
			初級英語 II	足利	1											
			中級英語 I	松本	1											
			中級英語 II	松本	1											
		フランス語	フランス語	三浦	1		30									70
			ドイツ語	阿部和	1		30									72
	情報科学科目	健康・運動科学	運動科学	森田、山口、井上恒	2		30								74	
		情報科学	情報科学	西牧、二瓶	2		30								76	
		情報処理演習	情報処理演習 I	西牧、二瓶	1		30									78
			情報処理演習 II	西牧、二瓶	1		30									81
		統計学	基礎統計学	菅家、西牧	2		30								84	
医療基礎科目		個体差健康科学	個体差健康科学・多職種連携入門	中野倫ほか	2		30								87	
	地域連携	地域ボランティア論	富家、白石	2		30								90		
	医療倫理	医療倫理	森元、磯部	2		30								92		
全学教育科目 合計27単位以上修得 (うち必修12単位)																

※心の哲学は、2017年度開講分から授業科目が「自然と科学」から「人間と思想」に変更。履修する場合は、「自然と科学」に読替える。



令和2年度 臨床心理学科 時間割 (前期)

科目(題目)  
講義担当者

曜日	学年	I 講時 9:00-10:20	II 講時 10:30-11:50	III 講時 12:40-14:00	IV 講時 14:10-15:30	V 講時 15:40-17:00		
月	1	◇多職種連携(多職種連携入門)・ ○真高、富家、安部、関口		C91 ◇公認心理師の職業 ○富家、安部	C92 コミュニケーション実践論 I 石坂	C93 ◇心理学研究法 百々		
	2	心理学基礎Ⅱ・ 加藤	C93 神経・生理心理学 I 百々	C92 内科学：(リハと合同) ○太田、森谷、工藤	C91 心理的アセスメント ○本谷、中野、野田、金澤、森伸、今井、関口、河村	C91		
	3		キャリア・プランニングⅢ ○齊藤、西郷、大平	C93 健康・医療心理学Ⅱ 関口	C93			
	4							
	4編	心理学基礎Ⅱ・ 富家	C93 キャリア・プランニングⅢ ○齊藤、西郷、大平	C93				
火	1	◇情報処理演習(情報処理演習Ⅰ) ◇情報処理演習(情報処理演習Ⅱ) ○西牧、二瓶		C91	◇英語Ⅰ (英語コミュニケーションA) ①Cain ②Lee	C92 C93		
	2	知覚・認知心理学 森伸	C92 人間と文化 (フランス美術と歴史のダイナミクス) 柴	C93				
	3		感情・人格心理学Ⅱ 百々	C92				
	4							
	4編				◇臨床心理臨床実習 ※旧科目 ★Ⅳ～Ⅵ講義 ○本谷、富家、中野、野田、金澤、河合、森伸、今井、齊藤、関口	C91		
水	1	人間と社会 (法学概論) 肥嶋	C93 人間と社会 (社会学入門) 善井	C93	◇心理学概論 安部			
	2		◇英語Ⅱ (英語A) ①○松本 ②中島	C91 C92	◇キャリア・プランニングⅠ ○齊藤、西郷	C91		
	3			小児科学 太田	C93		内科学：(リハと合同) ○太田、森谷・工藤	
	4	◇専門演習Ⅱ 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、本谷、森伸、 今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田					臨床心理文獻講読Ⅰ ○関口、河村	
	4編	◇専門演習Ⅱ 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、本谷、森伸、 今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田		小児科学 太田	C93		臨床心理文獻講読Ⅰ ○関口、河村	
木	1		医療倫理 (医療倫理) 横部	C93	地域連携 (地域ボランティア論) ○西郷、富家	C93	自然と科学 (技術と人間) 原	
	2			心理学実験： ○齊藤、百々、真島、福田			C92	
	3		◇心理学的支援法Ⅰ 河合	C91	遺伝学 太田	C91	心理療法の実践Ⅰ ○本谷、河村	心理情報処理 森伸
	4							
	4編		◇心理学的支援法Ⅰ (◇カウンセリング) 河合	C91	遺伝学 太田	C91	心理療法の実践Ⅰ ○本谷、河村	心理情報処理 森伸
金	1	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ 下村	C91	人間と思想 (哲学入門) 森元	C91	◇基礎ゼミナール (Freshers 講義) ○西郷、富家、他(本谷、齊藤、 真島、関口、西牧、福田)	C91	◇統計学 (基礎統計学) 西牧
	2		心理学統計法Ⅱ 真島	C92	精神疾患とその治療 中野	C92		◇発達心理学Ⅰ 今井
	3			脳科学 安部	C93	◇障害者・障害児心理学 今井	C92	
	4							
	4編		心理学統計法Ⅱ (◇心理学研究法Ⅲ) 真島	C92	脳科学 (◇脳科学) 安部	C93	◇障害者・障害児心理学 (◇障害者心理学) 今井	C92
集中講義		I 講時 9:00-10:20	II 講時 10:30-11:50	III 講時 12:40-14:00	IV 講時 14:10-15:30	V 講時 15:40-17:00		
1		心理学基礎Ⅰ： 菊岡	8コマ(4コマ×2日予定) (8/28,8/31:Ⅰ～Ⅳ) (*試験:19/3 予定)			C93		
2				ジェンダー論： 一戸	(8/17～8/21:Ⅲ～Ⅴ)	C91		
4		個体差健康科学(全学連携地域包括ケア実践演習)： ○安部、福田 他 (8/5～8/7)						

【編入4学年対象 特別開講科目(旧初3年次必修科目)：◇行動学、◇老年心理学 (\*開講日は別途調整)】

C91,92,93 = 中央講義棟9階

令和2年度 臨床心理学科 時間割 (後期)

科目(題目)	単 位
講義担当者	

曜日	学年	I 講時 9:00-10:20	II 講時 10:20-11:50	III 講時 12:40-14:00	IV 講時 14:10-15:30	V 講時 15:40-17:00	VI 講時 17:10-18:30					
月	1	◇学習・言語心理学 I 福田	C91 自然と科学 (物質の科学) 鈴木	C91 ◇英語 I (英語コミュニケーションB) ①Cain ②Lee	C92 人間と思想 (科学技術社会と倫理) 樋部	C93 コミュニケーション実践論 II 石垣	C93					
	2			◇教育・学校心理学 I 富家	C91 キャリア・プランニング II ○西郷、齊藤、桑原	C91						
	3		心理学的支援法 II ○中野、関口	C92	◇福祉心理学 金澤	C92	心理療法の実践 II 今井茂	C92				
	4	心理療法の実践 IV ○中野、百々	C92	学校臨床心理学 富家	C93							
	4編	心理療法の実践 IV ○中野、百々	C92	学校臨床心理学 富家	C93	◇教育・学校心理学 I (◇教育心理学) 富家	心理療法の実践 II 今井茂	C92	◇臨床心理臨床実習 ※追加科目 *1	C93		
火	1		健康・運動科学 (運動科学) (福祉・医と合同) ○山口、井上正、富家	体育館	文章指導 (日本語表現) ○井上真、山口 *2*3*4(注)	C92 人間と文化 (ヨーロッパの歴史と文化) 佐藤圭	C92					
	2	◇健康・医療心理学 I 本谷	C91	産業・組織心理学 中川	C91	発達心理学 II ○金澤、百々	C91	心理学基礎 III * 小西	C93			
	3	心理演習 ○中野、富家、野田、森伸、金澤、河合、本谷、今井	C93					◇専門演習 I 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、森伸、本谷、 今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田				
	4							◇卒業研究 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、本谷、 今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田				
	4編	◇臨床心理学的援助演習 I ※追加科目 ○西郷、関口、河村	C92					◇卒業研究 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、本谷、 森伸、今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田				
水	1	◇臨床心理学概論 本谷	C91	◇社会・集団・家族心理学 ○真島、河合	C91	初級外国語 (フランス語)(学部と合同) 永野	C93	初級外国語 (初級中国語) 星	C93	◇心理学統計法 I 福田	C91	
	2			◇英語 II (英語B) ①○松本 ②中島	C92 C93	学習・言語心理学 II 齊藤	C92	人間と思想 (心の哲学) 森元	C92			
	3	◇司法・犯罪心理学 野田	C92				教育・学校心理学 II 富家	C91				
	4					臨床心理学特別講義 森元	C91				◇卒業研究	
	4編	◇司法・犯罪心理学 (◇異常心理学) 野田	C92			臨床心理学特別講義 森元	C91				◇卒業研究	
木	1					初級外国語 (ドイツ語) 阿部	C93	人間と社会 (経済学入門) 金盛	C93			
	2		神経・生理心理学 II 橋本	C91	コミュニケーション実践論 III 長谷川	C91	◇感情・人格心理学 I 野田	C91				
	3	心理演習 ○中野、富家、野田、森伸、金澤、河合、本谷、今井	C93									
	4	心理学の歴史 福田	C91	ソーシャルワーク概論 ○福岡、佐藤	C92	公衆衛生学 志波	C92	キャリア・プランニング III ○齊藤、金澤、西郷	C92	関係行政論 ○野田、中野、富家	C92	
	4編	心理学の歴史 (◇心理学の歴史) 福田	C91			コミュニケーション実践論 III (コミュニケーション実践論) 長谷川	C91	キャリア・プランニング IV ○齊藤、金澤、西郷	C92			◇臨床心理臨床実習 ※追加科目 *1
金	1			人体の構造と機能及び疾病 II ○下村、中野	C91	◇医学総論 * 中野	C91	情報科学 (情報科学) 西牧	C93			
	2		労働安全衛生論 森田	C91								
	3			行動経済学 真島	C92							
	4	◇卒業研究 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、本谷、 森伸、今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田			臨床心理文獻講義 II 西郷	C93						
	4編	◇卒業研究 富家、中野、野田、安部、金澤、河合、百々、本谷、 森伸、今井、齊藤、真島、西牧、関口、西郷、河村、福田			行動経済学(行動経済学 II) / 臨床心理文獻講義 II 真島 / 西郷	C92 93	◇臨床心理学的援助演習 II ※追加科目 ○関口、西郷、河村	C92			◇臨床心理臨床実習 ※追加科目 *1	C93
集中講義	2	I 講時 9:00-10:20	II 講時 10:20-11:50	III 講時 12:40-14:00	IV 講時 14:10-15:30	V 講時 15:40-17:00	VI 講時 17:10-18:30	環境心理学 森康 (12/16~12/18: I~V)	C91			

\*1 【心臓入4】臨床心理臨床実習  
○本谷、富家、中野、野田、森伸、河合、百々、齊藤、関口  
【2学年 田カキョウ】人特別開講科目・◇発達臨床心理学 (※開講日は別途開校)】  
【編入4学年対象 特別開講科目(旧3年次必修科目)】・◇自我心理学 (※開講日は別途開校)】

注	◇ : 必修科目	△ : 要則講義(開講日程指定)
釈	○ : 科目上担当教員	

C91,92,93 = 中央講義棟9階

## 令和2年度 講義日程

## 臨床心理学科

## 【前期】第1学年

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
月	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
火	4/14	4/21	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4
水	4/15	4/22	4/28	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29
木	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/30
金	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/31

4/7 (火)～9(木)＝オリエンテーション・ガイダンス等

4/28 (火)＝水曜日科目講義

## 【前期】第2・3・4学年

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
月	4/6	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27
火	4/7	4/14	4/21	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28
水	4/8	4/15	4/22	4/28	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22
木	4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9
金	4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10

4/1 (水)＝前期ガイダンス

4/28 (火)＝水曜日科目講義

7/16 (木)・17(金)＝補充講義日

## 【後期】第1・2・3・4学年

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
月	9/7	9/14	9/16	9/28	10/5	10/16	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/30	12/7	1/18	1/25
火	9/8	9/15	9/24	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	1/12	1/19
水	9/9	9/23	9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	1/13	1/20
木	9/10	9/17	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	1/14	1/21
金	9/11	9/18	9/25	10/2	10/9	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	1/15	1/22

9/4 (金)＝後期ガイダンス

9/16 (水)、10/16(金)＝月曜日科目講義

9/24 (木)＝火曜日科目講義

1/26 (火)＝補充講義日

---

## 令和2年度「心理演習」(3年後期)及び令和3年度「心理実習」(4年前期)の履修者数について

---

- 1 標記科目の履修者数につき、いずれも上限を30名とする旨を昨年9月に伝達しましたが、時間割、教員の配置、演習内容等を再度検討した結果、この人数制限を撤廃することとしました。
- 2 ただし、以下の履修の要件に変更はありません。
  - (1)「心理演習」については、「心理的アセスメント」(2年前期)の単位を修得していること。
  - (2)「心理実習」については、「心理演習」(3年後期)の単位を修得していること。
- 3 いずれの科目も公認心理師資格取得を目標とした授業の進め方をしますので、履修にあたってはそれまでに開講された公認心理師科目の単位をすべて習得していることが望まれますが、この点は履修要件ではありません。

心理科学部 臨床心理学科 カリキュラムマップ

【北海道医療大学 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

北海道医療大学は、大学および各学部学科の教育理念・教育目的に基づいた教育目標の達成に向けて、全学教育および専門教育科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、各学部学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

【心理科学部 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)

心理科学部臨床心理学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

DP1: 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP2: 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。

DP3: 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

心理科学部 全学教育科目(令和2年度一般入学生に適用)

◎:最も当てはまる。

○:次に当てはまる。

種類	科目区分	授業科目	(授業題目)	単位数		心理科学部学位授与方針 ディプロマ・ポリシー(DP)			時間数 1年		時間数 2年		時間数 3年		時間数 4年		備考 卒業要件 (選択科目)			
				必修	選択	DP1	DP2	DP3	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	Freshers' 講座	2			◎		30											
		文章指導	日本語表現	2			◎		30											
	教養科目	人間と思想	哲学入門	2	◎				30									*	4 授業科目 8 単位以上 以上修得	
			科学技術社会と倫理	2	◎				30									*		
		人間と文化	心の哲学	2	◎						30									*
			ヨーロッパの歴史と文化	2	◎					30										*
		人間と社会	フランス美術と歴史のダイナミズム	2	◎						30									*
			社会学入門	2	◎					30										*
			経済学入門	2	◎					30										*
			法学概論	2	◎					30										*
自然と科学	技術と人間	2	◎					30									*			
	物質の科学	2	◎					30									*			
基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	1			◎		30											
			英語コミュニケーションB	1			◎		30											
		英語 II	英語A	1			◎			30										
			英語B	1			◎				30									
	健康・運動科学科目	初級中国語	1	◎					30											
		初級フランス語	1	◎					30											
	健康・運動科学科目	ドイツ語	1	◎					30											
		健康・運動科学	運動科学	2	◎				30											
		情報科学	情報科学	2	◎				30											
		情報科学科目	情報処理演習	情報処理演習 I	1			◎		30										
	情報処理演習 II		1			◎		30												
統計学	基礎統計学		2			◎		30												
医療基盤教育	多職種連携	多職種連携入門	2			◎		30												
		全学連携地域包括ケア実践演習	2			◎						30								
	地域連携	地域ボランティア論	2	◎				30												
医療倫理	医療倫理	2	◎				30													

\*それぞれ2単位以上修得

全学教育科目 合計27単位以上修得 (うち必修12単位)

<心理科学部 臨床心理学科 専門教育科目> (令和2年度一般入学生に適用)

◎:最も当てはまる  
○:次に当てはまる

種類	科目区分	授業科目名	単位数		心理科学部学位授与方針 ディプロマ・ポリシー(DP)			時間数	備考	
			必修	選択	DP1	DP2	DP3			
公認心理師科目	心理学基礎科目	公認心理師の職責	2		◎	○		30		
		心理学概論	4		◎			60		
		臨床心理学概論	2		◎			30		
		心理学研究法	2			◎	○	30		
		心理学統計法 I	2			○	◎	30		
		心理学統計法 II	2	2		○	◎	30	*	
	心理学実験	2	2		◎	○	90	*		
	心理学発展科目	知覚・認知心理学	2	2		◎	○	30		
		学習・言語心理学 I	2		◎		○	30		
		学習・言語心理学 II	2	2	◎		○	30	*	
		感情・人格心理学 I	2		◎		○	30		
		感情・人格心理学 II	2	2	◎		○	30	*	
		神経・生理心理学 I	2		◎		○	30	*	
		神経・生理心理学 II	2	2	◎		○	30	*	
		社会・集団・家族心理学	2		◎		○	30		
		発達心理学 I	2		◎		○	30		
		発達心理学 II	2	2	◎		○	30	*	
		障害者・障害児心理学	2		◎		○	30		
		心理的アセスメント	4		○		◎	60	*	
		心理学的支援法 I	2		○		◎	30		
		心理学的支援法 II	2	2	○		◎	30	*	
	実践心理学	健康・医療心理学 I	2		◎		○	30		
		健康・医療心理学 II	2	2	◎		○	30	*	
		福祉心理学	2		◎		○	30		
		教育・学校心理学 I	2		◎		○	30		
		教育・学校心理学 II	2	2	◎		○	30	*	
		司法・犯罪心理学	2		◎		○	30		
		産業・組織心理学	2		◎		○	30		
	心理学関連科目	人体の構造と機能及び疾病 I	2		◎			30		
		人体の構造と機能及び疾病 II	2		◎			30		
	実習演習科目	精神疾患とその治療	2		◎			30	*	
		関係行政論	2		◎			30		
		心理実習	2		○		◎	90		
		心理演習	4		○		◎	120		
	臨床心理専門科目	研究	専門演習 I	2		○	◎		60	
			専門演習 II	2		○	◎		60	
			専門演習 III	2		○	◎		60	
		専門基礎科目	心理文献講読 I	2		○	◎		30	
			心理文献講読 II	2		○	◎		30	
			心理情報処理	2		○	◎		30	
			心理科学基礎 I	1		◎			15	
心理科学基礎 II			1		◎			15		
心理科学基礎 III			1		◎			15		
心理科学基礎 IV			1		◎			15		
ジェンダー論			2		◎			30		
環境心理学			2		◎			30		
心理学の歴史			2		◎			30		
臨床心理学特別講義 I			2		◎			30		
臨床心理学特別講義 II		2		◎			30			
ソーシャルワーク概論		2		◎			30			
コミュニケーション科目		コミュニケーション実践論 I	2		○		◎	30		
		コミュニケーション実践論 II	2		○		◎	30		
		コミュニケーション実践論 III	2		○		◎	30		
心理療法		心理療法の実際 I	2		○		◎	30		
		心理療法の実際 II	2		○		◎	30		
		心理療法の実際 III	2		○		◎	30		
		心理療法の実際 IV	2		○		◎	30		
進路支援科目		キャリア・プランニング I	2		◎	○		30		
		キャリア・プランニング II	2		◎	○		30		
		キャリア・プランニング III	2		◎	○		30		
		キャリア・プランニング IV	2		◎	○		30		
医療系科目		医学総論	1		◎	○		15		
		内科学	2		◎	○		30		
		遺伝学	2		◎	○		30		
		脳科学	2		◎	○		30		
		公衆衛生学	2		◎	○		30		
産業心理科目		小児科学	2		◎	○		30		
		行動経済学	2		◎	○		30	*	
		労働安全衛生論	2		◎	○		30		
計			41	98			2355			
専門教育科目 合計101単位以上修得										
合計128単位以上修得(必修53単位、選択75単位以上) ※専門教育科目における必修科目中、「*」の科目より16単位以上修得。										

心理科学部 臨床心理学科 カリキュラムツリー

【心理科学部 臨床心理学科 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)】

心理科学部臨床心理学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1: 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
- DP2: 社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
- DP3: 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的スキルを修得している。

(令和2年度一般入学生に適用)

全学教育科目 専門教育科目

1年次	2年次	3年次	4年次		
哲学入門 科学技術社会と倫理 ヨーロッパの歴史と文化 社会学入門 経済学入門 法学概論 技術と人間 物質の科学 初級中国語 フランス語 ドイツ語 運動科学 情報科学 地域ボランティア論 医療倫理 公認心理師の職責 心理学概論 臨床心理学概論 学習・言語心理学 I 社会・集団・家族心理学 人体の構造と機能及び疾病 I 人体の構造と機能及び疾病 II 心理科学基礎 I 医学総論	心の哲学 フランス美術と歴史のダイナミズム 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 II 感情・人格心理学 I 神経・生理心理学 I 神経・生理心理学 II 発達心理学 I 発達心理学 II 心理的アセスメント 教育・学校心理学 I 健康・医療心理学 I 産業・組織心理学 精神疾患とその治療 心理科学基礎 II 心理科学基礎 III ジェンダー論 環境心理学 キャリア・プランニング I キャリア・プランニング II 内科学 労働安全衛生論	感情・人格心理学 II 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学 II 健康・医療心理学 II 福祉心理学 司法・犯罪心理学 関係行政論 心理科学基礎 IV 心理学の歴史 ソーシャルワーク概論 キャリア・プランニング III キャリア・プランニング IV 遺伝学 脳科学 公衆衛生学 小児科学 行動経済学	臨床心理学特別講義 I 臨床心理学特別講義 II	DP1	
日本語表現 英語コミュニケーションA 英語コミュニケーションB 情報処理演習 I 情報処理演習 II 基礎統計学 心理学研究法	英語A 英語B 心理学実験	専門演習 I 心理情報処理	専門演習 II 専門演習 III 心理文献講読 I 心理文献講読 II		DP2
Freshers' 講座 多職種連携入門 心理学統計法 I コミュニケーション実践論 I コミュニケーション実践論 II	心理学統計法 II コミュニケーション実践論 III	心理学的支援法 I 心理学的支援法 II 心理演習 心理療法の実践 I 心理療法の実践 II	全学連携地域包括ケア実践演習 心理実習 心理療法の実践 III 心理療法の実践 IV		DP3



令和2年度  
授業計画

令和2年4月1日発行

編集発行 北海道医療大学  
北海道石狩郡当別町金沢1757

印刷 山藤三陽印刷(株)



北海道医療大学 心理科学部  
令和2年度授業計画